

富士見町都市計画道路見直しに関するアンケート調査
報告書

概要版

令和7年7月
富士見町 建設課

1. 調査の概要

1.1. 調査目的

富士見町都市計画道路の見直し及び新たな都市計画道路網の検討にあたり、都市計画道路整備の必要性や、都市計画道路廃止に伴う代替路として機能強化すべき路線、都市計画道路に求められる機能・役割などに関する町民の意向を把握し、見直し案（新たな都市計画道路網案）に反映することを目的として、アンケート調査を実施した。

1.2. 調査概要

アンケート調査の概要は以下のとおり。

調査区分	標本調査
調査対象者	富士見町在住の満 18 歳以上の男女：1,500 人※
対象者の抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
配布・回収方法	配布：郵送による配布 回収：① 郵送による回答(回収) ② インターネット(Web)による回答(回収) (インターネットによる回答は「Google フォーム」を使用)
調査期間	令和 7 年 1 月 22 日(水)～2 月 12 日(水)

※アンケート配布数（標本数）の設定は、回収率を 40%と想定し、信頼度 95%、標本誤差 5%以下の基準を満たす水準（必要サンプル数：368 人以上）で町全体の傾向分析を実施できるよう、「1,500 人」とした。

1.3. 回収結果

実施したアンケートの回収結果は以下のとおり。

配布数	1,500 人
回収数（有効回答数）	766 人
回収率（有効回答率）	51.1%

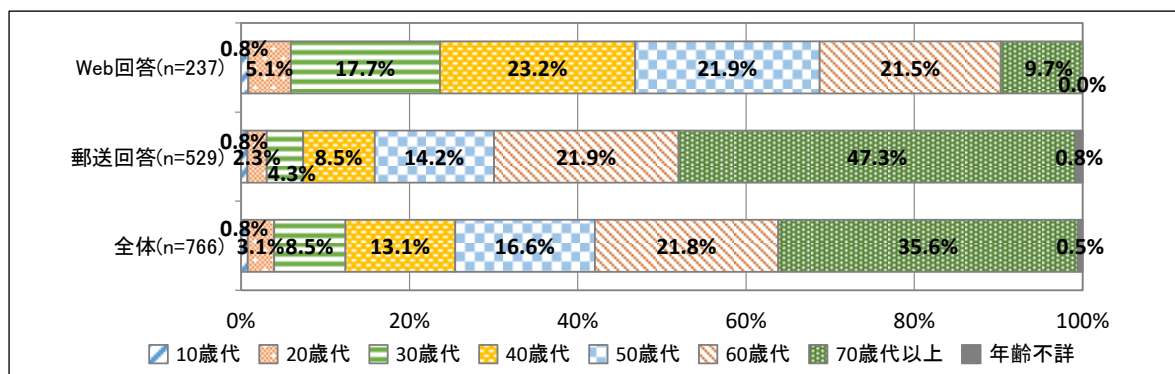


図 アンケート回収結果（回収方法別・年代別の内訳）

1.4. 留意事項

- (1) 構成比は、四捨五入、端数処理により 100%とならないことがある。
- (2) グラフ・表における「n」は有効回答者数を示す。
- (3) 複数回答における回答率は、全回答者のうちどれくらいの人数が回答したかを示す。

2. 調査結果

2.1. 回答者属性

質問1	あなたの性別を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください)
-----	-------------------------------------

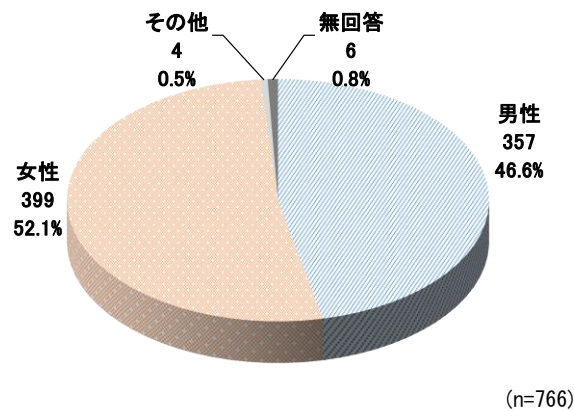


図 回答者属性：性別

質問2	あなたの年齢を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください)
-----	-------------------------------------

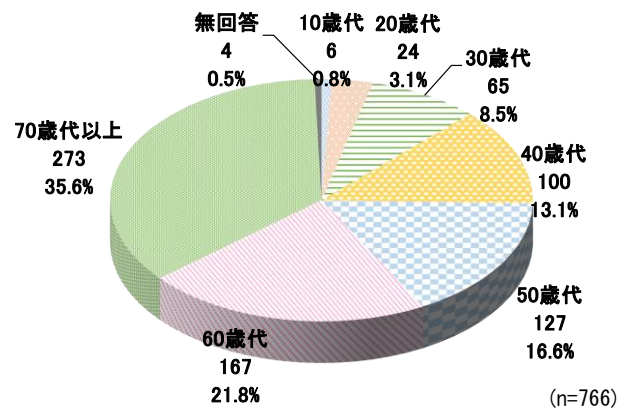


図 回答者属性：年齢

質問3	あなたのお住まいの地区を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください)
-----	--

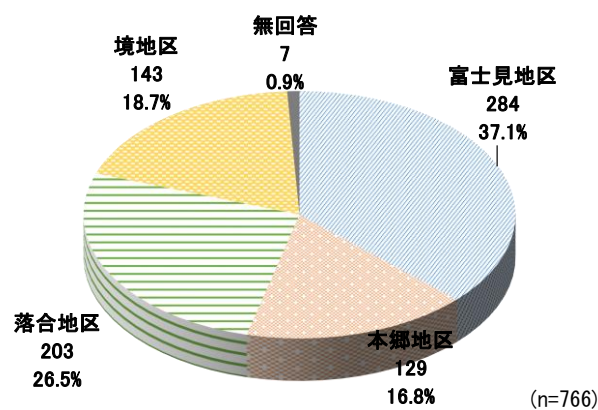


図 回答者属性：居住地区

2.2. 富士見駅周辺のまちづくりについて

※ 富士見駅周辺とは、富士見駅を中心とした概ね半径 800m 以内の徒歩圏内の区域を指す。

2.2.1. 富士見駅周辺におけるまちづくりの方向性

質問 4	町では富士見駅周辺のまちづくりの方向性を踏まえた都市計画道路の見直しを進めていく方針です。富士見駅周辺におけるまちづくりの方向性について、特に重要と考えることを教えてください。（該当する番号を 2 つまで選んで○を付けてください）
------	---

「災害に強く、歩行者や自転車が安全に利用できる道路整備の推進」（48.8％）の割合が最も高く、次いで、「駅前商店街の活性化や魅力的な店舗の誘致による賑わいの創出」（44.8％）、「高齢者や子育て世代が安心して暮らせる福祉環境の充実」（44.5％）の割合が高くなっている。

年齢別のクロス集計結果をみると、子育て世代（30 歳代）と高齢世代（70 歳代以上）で「高齢者や子育て世代が安心して暮らせる福祉環境の充実」の割合が高くなっている。

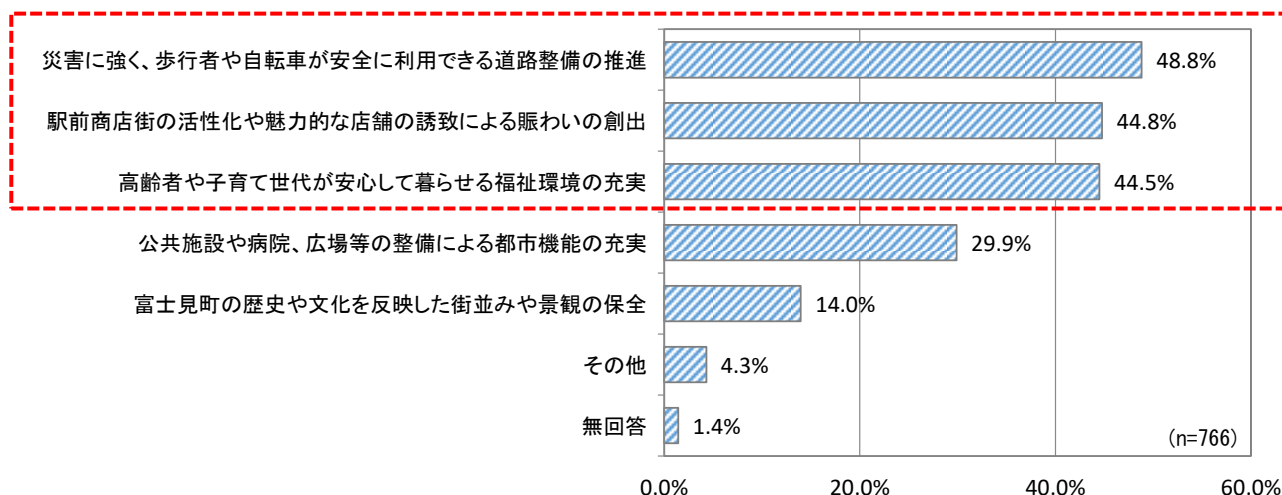


図 【単純集計】 富士見駅周辺におけるまちづくりの方向性



住民意向を踏まえた検討の方向性

富士見駅周辺におけるまちづくりの方向性としては、以下の事項を考慮する必要がある。

- ① 災害に強い都市基盤が整備されていること
- ② 歩行者や自転車が安全に利用できる歩行者空間が整備されていること
- ③ 賑わい創出のため、道路空間だけでなく、沿道の土地利用と一体となった空間を整備すること（沿道利用が可能なこと）
- ④ 高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが利用しやすい道路空間が整備されていること（ユニバーサルデザイン、バリアフリー化など）

2.2.2. 富士見駅周辺において維持・充実すべき都市施設

質問5	富士見駅周辺の市街地で維持・充実すべきだと思う都市施設を教えてください。 (該当する番号を3つまで選んで○を付けてください)
-----	---

「スーパーや飲食店等の商業施設」(65.3%)の割合が最も高く、次いで、「病院や診療所など医療サービスを受けることができる医療施設」(52.2%)の割合が高くなっている。

年齢別のクロス集計結果をみると、20歳代以下は「スーパーや飲食店等の商業施設」の割合が特に高くなっている。

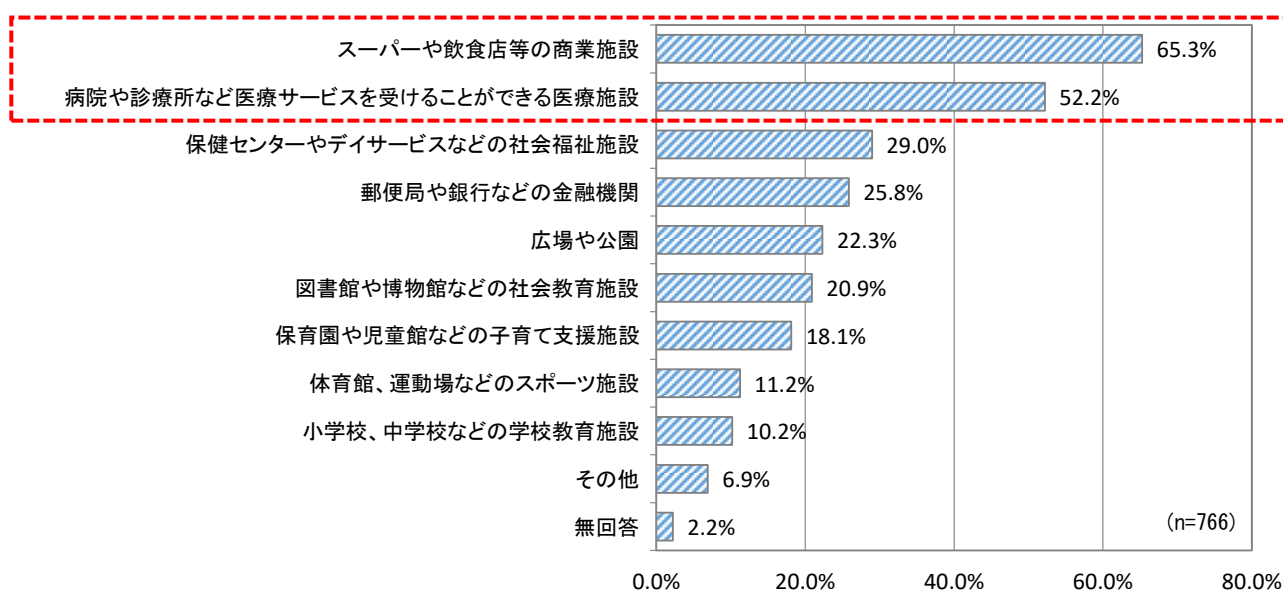


図 【単純集計】 富士見駅周辺において維持・充実すべき都市施設



住民意向を踏まえた検討の方向性

富士見駅周辺において、以下の施設については、重点的に維持・充実を図る必要がある。

① あぐりモールふじみなどの「商業施設」の維持・充実が必要

➡ 富士見町立地適正化計画で、「商業施設(店舗面積 1,000 m²以上)」を誘導施設に設定

② 富士見高原病院などの「医療施設」の維持・充実が必要

➡ 富士見町立地適正化計画で、「病院」を誘導施設に設定

⇒ これらの施設をつなぐための道路整備が必要

2.3. 都市計画道路や既存道路のあり方について

2.3.1. 都市計画道路の認知度

質問6	富士見町の都市計画道路は、現在8路線が計画決定されています。この都市計画道路の計画をご存じですか。また、所有されている土地などが都市計画道路の整備予定地となっているか教えてください。（該当する番号1つに○を付けてください）
-----	---

「計画について全く知らない」（55.4%）が約5割を占めており、「計画の存在は知っているが、具体的な位置などは知らない」（29.2%）を合わせると、約8割が具体的な位置などを知らない状況である。

年齢別のクロス集計結果をみると、若い世代ほど都市計画道路の認知度が低く、40歳代以下では「計画について全く知らない」が約7割を占めている。

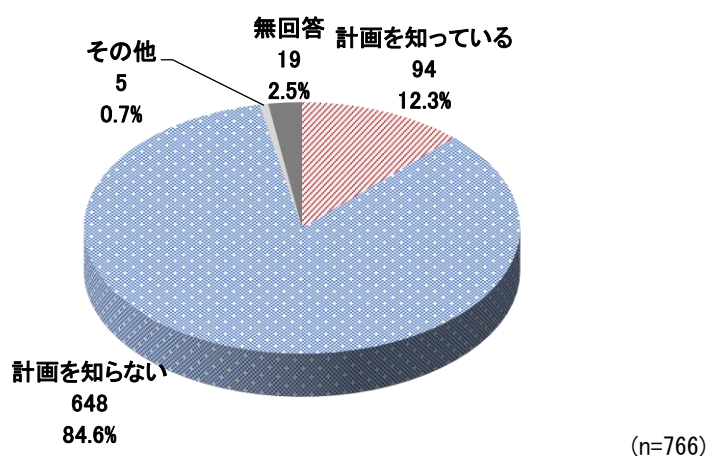
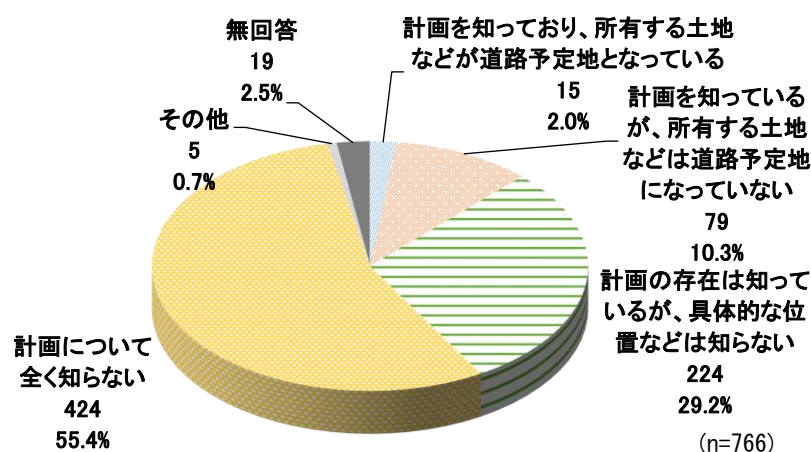


図 【単純集計】 都市計画道路の認知度

2.3.2. 都市計画道路の整備方針

質問7	町では、コストや地形上の問題から実現性が低い都市計画道路や、周辺に機能を代替する現道があるなど、整備の必要性が低い都市計画道路については、廃止を含めた検討を行う方針です。このような町の方針を踏まえつつ、都市計画道路の整備方針について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。（該当する番号1つに○を付けてください）
-----	---

「歩道の設置など現道を活用した新たな整備を検討する」（67.9％）の割合が最も高く、約7割を占めている。「計画通り新設を伴う道路整備を進める」（15.5％）、「整備をする必要はない」（9.3％）は各々10％前後となっている。

年齢別のクロス集計結果をみると、全年代共通して「歩道の設置など現道を活用した新たな整備を検討する」の割合が最も高くなっている。

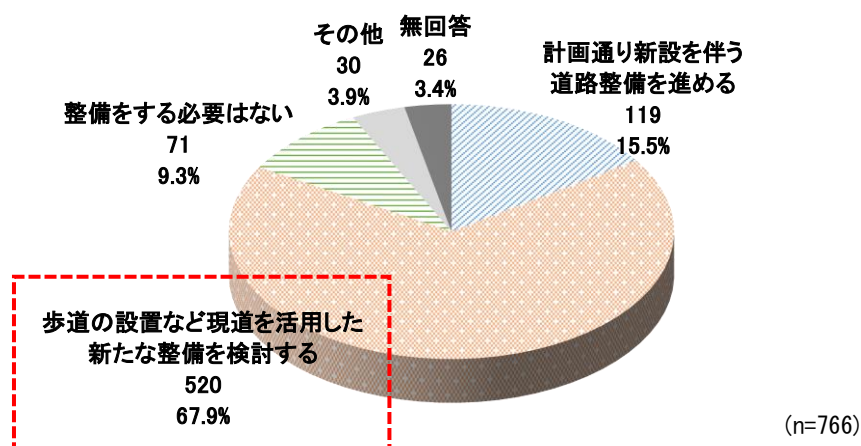


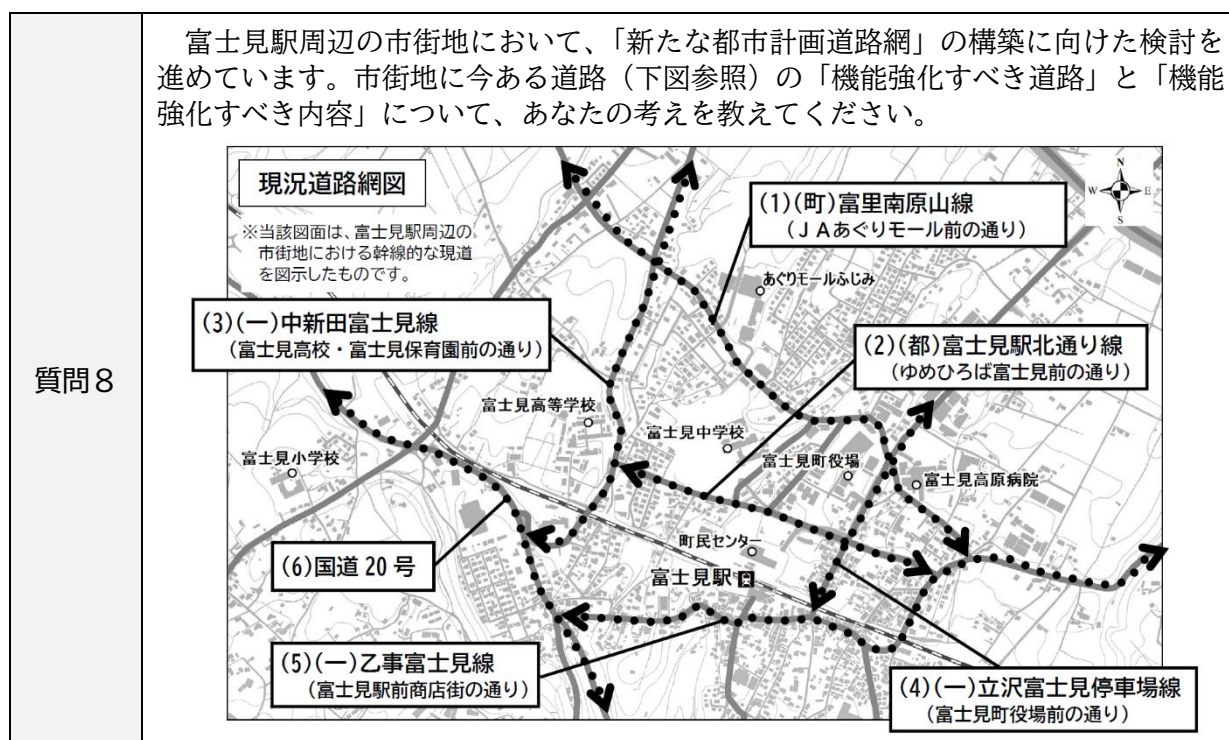
図 【単純集計】 都市計画道路の整備方針



住民意向を踏まえた検討の方向性

- ① 「計画通り新設を伴う道路整備を進める」の割合が低いため、**実現性が低い路線や、周辺に機能を代替する現道があるなど、整備の必要性が低い都市計画道路については、廃止を含めた検討を行う。**
- ② 「歩道の設置など現道を活用した新たな整備を検討する」の割合が高いため、**都市計画道路の見直し及び新たな都市計画道路網の検討にあたっては、歩行者空間の機能強化を含んだ「現道活用」を基本とする。**

2.3.3. 機能強化すべき道路と機能強化すべき内容



(1) 機能強化すべき道路【該当するもの全てに○】

「(一)乙事富士見線(富士見駅前商店街の通り)」(57.4%)の割合が最も高く、次いで、「(町)富里南原山線(JAあぐりモール前の通り)」(39.6%)、「(一)中新田富士見線(富士見高校・富士見保育園前の通り)」(31.9%)、「(一)立沢富士見停車場線(富士見町役場前の通り)」(31.3%)の割合が高くなっている。

また、「国道20号」(19.6%)、「(都)富士見駅北通り線(ゆめひろば富士見前の通り)」(16.8%)の割合は20%以下となっており、機能強化のニーズは低いと考えられる。

年齢別のクロス集計結果をみると、20歳代以下では「(一)中新田富士見線(富士見高校・富士見保育園前の通り)」の割合が高くなっている。

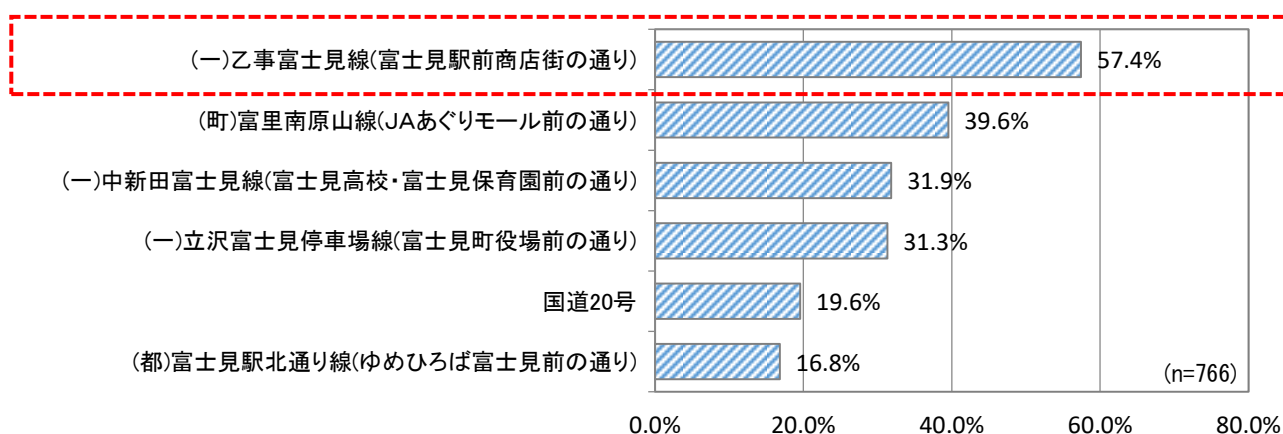
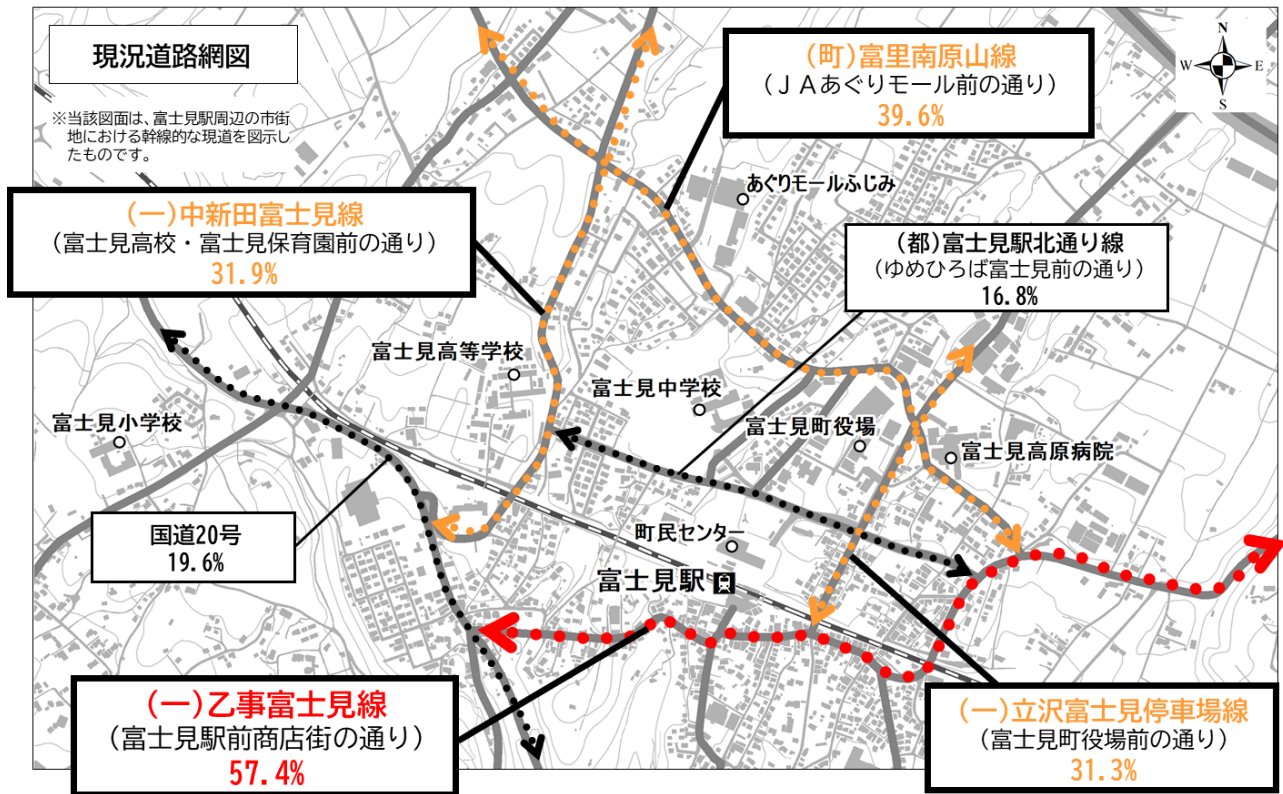


図 【単純集計】 機能強化すべき道路

(1) 機能強化すべき道路（集計結果を地図上に示したもの）



(2) 機能強化すべき内容【該当するもの全てに○】

① 自動車の走行空間の強化（…車道拡幅など）

「(一)乙事富士見線(富士見駅前商店街の通り)」(43.1%)の割合が最も高く、次いで、「(町)富里南原山線(JA あぐりモール前の通り)」(25.8%)、「(一)中新田富士見線(富士見高校・富士見保育園前の通り)」(20.1%)、「(一)立沢富士見停車場線(富士見町役場前の通り)」(20.0%)の割合が高くなっている。

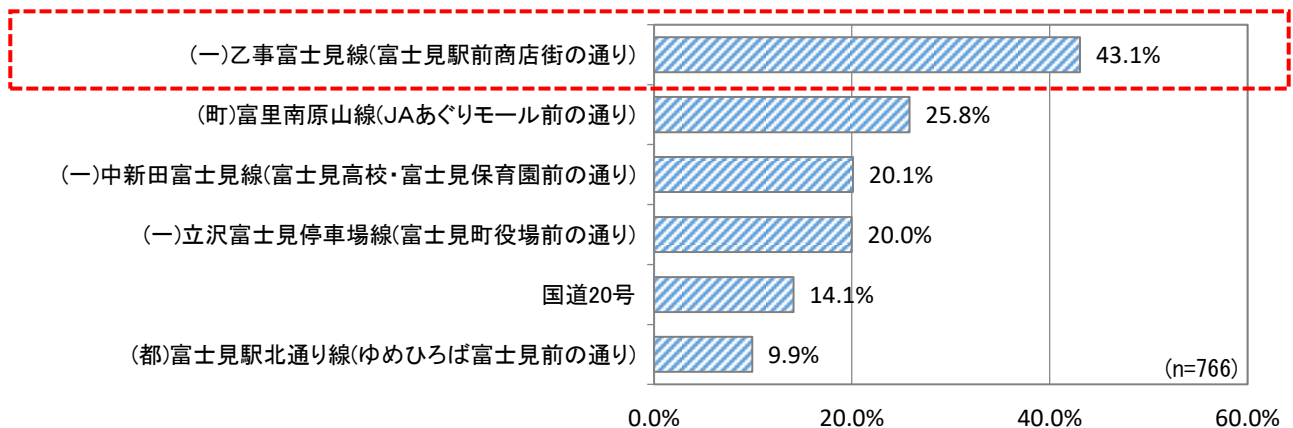


図 【単純集計】機能強化すべき内容：自動車の走行空間の強化

② 歩行者空間の強化（…歩道整備、電線地中化など）

「(一)乙事富士見線(富士見駅前商店街の通り)」(52.1%)の割合が最も高く、次いで、「(一)立沢富士見停車場線(富士見町役場前の通り)」(32.1%)、「(町)富里南原山線(JA あぐりモール前の通り)」(30.9%)、「(一)中新田富士見線(富士見高校・富士見保育園前の通り)」(29.8%)の割合が高くなっている。

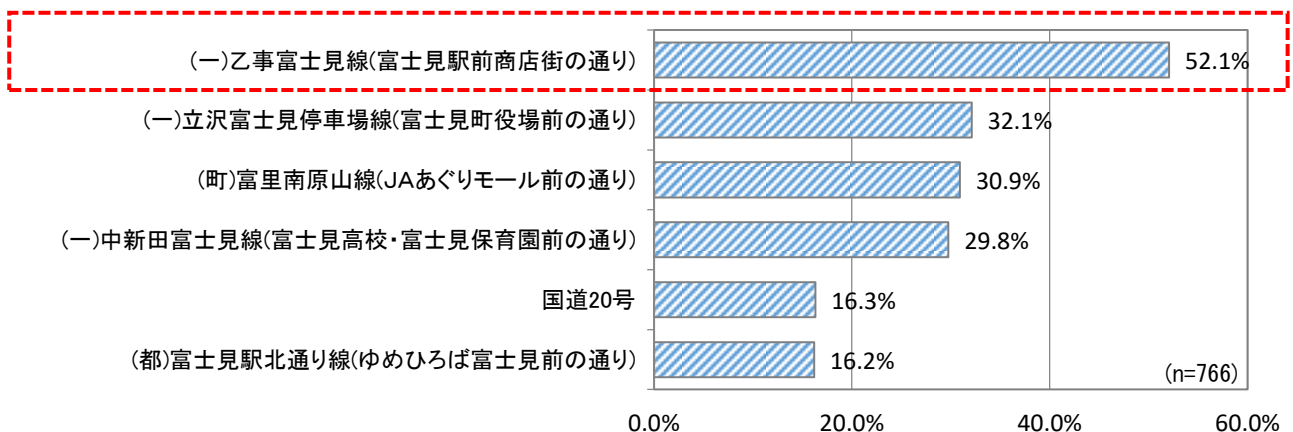


図 【単純集計】機能強化すべき内容：歩行者空間の強化



住民意向を踏まえた検討の方向性

① 住民意向を踏まえて機能強化すべき道路

● (一)乙事富士見線(富士見駅前商店街の通り)

➡ 現道は2車線道路で、第2次緊急輸送道路に指定されているが、歩道が設置されていないため、「自動車の走行空間(2車線道路)」の維持及び、「歩行者空間」の強化が求められる。

● (一)立沢富士見停車場線(富士見町役場前の通り)

● (町)富里南原山線(JA あぐりモール前の通り)

● (一)中新田富士見線(富士見高校・富士見保育園前の通り)

➡ 立地適正化計画で定める都市機能誘導区域・居住誘導区域の外郭を形成する道路であり、歩道の設置状況(両側・片側、歩道の幅員等)にバラつきがあることから、歩行者空間等の機能強化が求められる。

② 道路ネットワークの連続性の観点から機能強化すべき道路

● 国道 20 号

➡ 新たな都市計画道路網の構築にあたり、道路ネットワークとしての連続性を確保するため、一部区間の機能強化が求められる。

③ 機能強化の必要性が低い道路

● (都)富士見駅北通り線(ゆめひろば富士見前の通り)

➡ 整備済の都市計画道路であり、機能強化の必要性が低いと考えられる。

2.4. 富士見駅の駅前広場のあり方について

質問9	富士見駅の「西側（駅改札口側）」及び「東側（町民センター側）」について、利用者にとって便利で快適な駅前空間を実現するために必要だと思うことを教えてください。
-----	--

(1) 富士見駅西側（駅改札口側）

富士見駅西側（駅改札口側）において必要とされている駅前空間の機能をみると、「(6)公共サービスや情報提供の場（観光案内所やトイレなど）の整備」、「(1)自家用車から鉄道への乗り換え、または送迎がスムーズに行えるような空間の整備」、「(2)歩行者が安全かつ快適に移動できるスペースを確保するための整備」の割合が約70%となっており、利用者にとって便利で快適な駅前空間の実現にあたり、特に重要視されている。

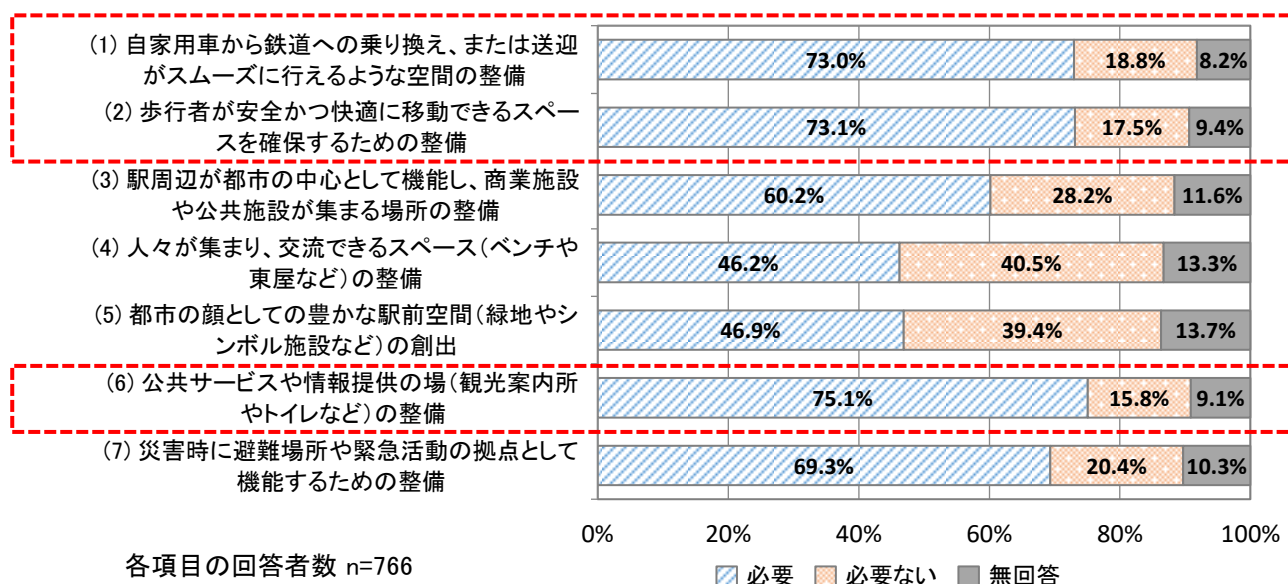


図 【単純集計】 富士見駅西側（駅改札口側）において必要とされている機能



住民意向を踏まえた検討の方向性

● 現状①

観光案内所と公衆トイレは、富士見駅西側（駅改札口側）において既設の施設がある。

➡ 既設の観光案内所、公衆トイレは、機能の維持又は強化が求められる。

● 現状②

自家用車による送迎等で利用できるロータリーは整備されておらず、歩車分離も行われていない。

➡ ロータリーの整備及び歩車分離による安全かつ快適に移動できる空間の整備が求められる。

(2) 富士見駅東側（町民センター側）

富士見駅東側（町民センター側）において必要とされている駅前空間の機能をみると、「(7) 災害時に避難場所や緊急活動の拠点として機能するための整備」の割合が約 80%で最も高く、次いで、「(1)自家用車から鉄道への乗り換え、または送迎がスムーズに行えるような空間の整備」、「(2)歩行者が安全かつ快適に移動できるスペースを確保するための整備」の割合が高くなっている。

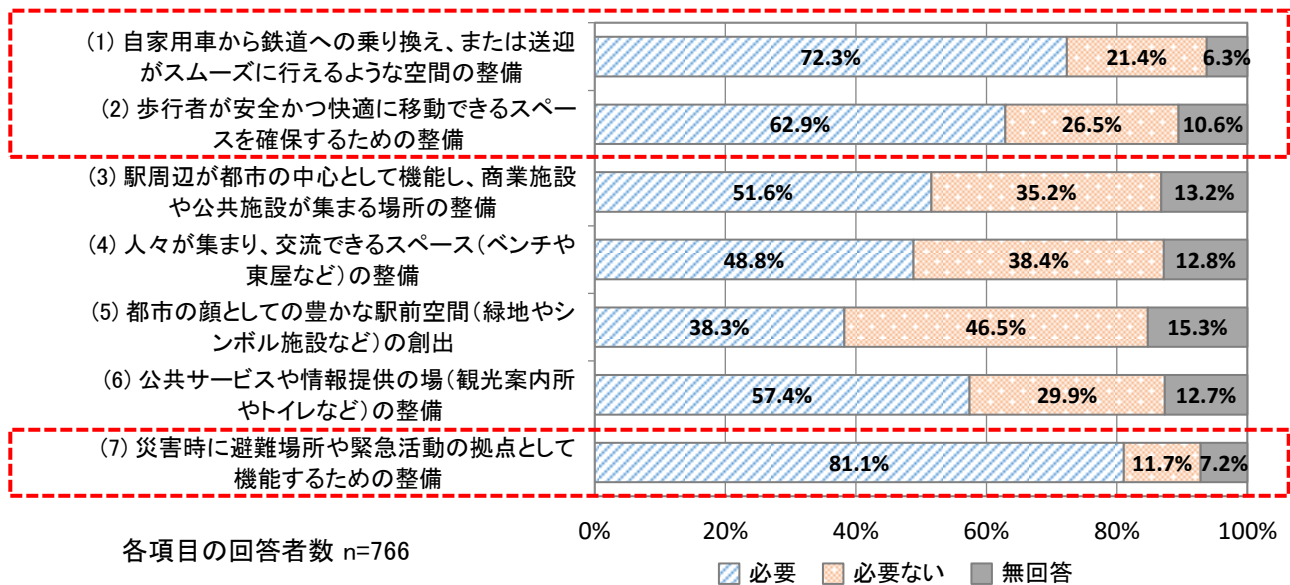


図 【単純集計】 富士見駅東側（町民センター側）において必要とされている機能



住民意向を踏まえた検討の方向性

● 現状①

災害時の拠点施設は富士見駅東側に集積しており、町民センター、コミュニティ・プラザ等が第二次避難所に指定されている。

➡ 富士見駅東側一帯のエリアにおける防災機能の向上に寄与する駅前広場の整備が求められる。

● 現状②

自家用車による送迎等で利用できるロータリーは整備されていないが、町民センターの駐車場が送迎スペースとして利用されている実態がある。

➡ 駅前広場(ロータリー)の整備及び歩車分離による安全かつ快適に移動できる空間の整備が求められる。